

推薦調書の記載方法について（丸数字は推薦調書（様式2）の番号と同じ。）

- ① 「職業部門・職種コード、職種名」には、P. 2～4の別表「職業部門・職種」に記載した番号及び職種名を記入すること。  
また、「事業所における職種名」には、事業所等で一般的に呼ばれている職種名を記入すること。
- ② 「氏名」には、戸籍に記載されている字画で、特に丁寧に記入し、ふりがなを付けること。なお、改姓・改名又は雅号・通称等のある者については、（ ）内に記入すること。
- ③ 「生年月日・年齢・性別」には、戸籍に記載されている生年月日を記入し、11月1日現在の満年齢を記入するとともに、男・女いずれかを○で囲むこと。
- ④ 「最終学歴」には、最終学歴（専門学校、各種学校、認定訓練施設等を除く。）を「○○中学校」、「○○高等学校（○○科）」等のように記入するとともに、卒・中退のいずれかを○で囲むこと。
- ⑤ 「現住所」には、番地、アパート名まで略さずに記入すること。
- ⑥ 「就業先」には、次のとおり記入すること。
  - (1) 「事業所名」には、雇用されている者は企業名を記入し、自営の者は屋号等を記入すること。
  - (2) 「部署・地位」には、支店名や工場名等、所属部署を記入し、職名を記入すること。
  - (3) 「所在地」には、番地、アパート名まで略さずに記入すること。
  - (4) 「従業員数」には、勤務（又は自営）する企業の全従業員数（概算でも可。）を記入すること。
  - (5) 「資本金」には、勤務する企業の資本金の額を記入すること。
  - (6) 「1日平均の就労時間」には、勤務日1日当たりの平均就労時間を記入し、「うち技能従事時間」には、1日当たりの平均就労時間のうち、専ら技能に従事している時間を記入すること。
  - (7) 「技能の主な従事内容」には、専ら技能に従事している時間のうち、主な従事内容について記入すること。
- ⑦ 「職歴」には、表彰に関する技能職種に従事していた職歴に関して、次のとおり記載すること。
  - (1) 「事業所名（部署名）」には、雇用されている者は企業名及び部署名を記入し、自営の者は屋号等を記入すること。なお、部署の異動等があった場合でも職務の内容が同一の場合は、部署名は最終の部署のみを記入すること。
  - (2) 「職務内容」には、具体的な職務の内容を簡潔に記入すること。
  - (3) 「在職期間」には、期間の始期及び終期を記入すること。なお、現職についての終期は、「現在」と記入すること。
  - (4) 「在職年月数」には、半月単位で計算した在職年月数を記入すること。この場合、期間が引き続いているときは、合算して在職年月数を記入するものとする。なお、現職については、表彰が行われる月の1日までの在職年月数を記入すること。また、半月未満又は半月以上1月未満の端数については切り捨てること。
  - (5) 「重複を除く年月数」には、在職年月数の合計を記入すること。ただし、同一の時期に2以上の職にあった期間については、合算しないこと。
- ⑧ 「審査委員歴等」には、表彰に関する技能職種に関連した国・県の技能検定委員及び補佐員、社内検定等の委員並びに作品展の審査委員等、審査委員の名称と従事内容（職種名、作品名）、その主催等、始期及び終期を記入すること。
- ⑨ 「団体役員歴等」には、業種別組合・団体等の役員歴がある場合、その名称と地位、始期及び終期を記入すること。また、いくつかの地位を歴任している場合は、その最高位の地位のみ記入すること。
- ⑩ 「模範性」には、町内会やPTA等地域社会活動の実績があれば、その内容を記入し、刑罰の有無、破産宣告の有無、成年被後見・被保佐人に該当については、有・無いずれかを○で囲むこと。
- ⑪ 「障害の有無」には、有の場合は障害名、級・程度、認定年月日を記入すること。

- ⑫ 「過去の推薦状況」には、過去において本表彰への推薦がある場合は、その年度及び推薦回数の合計を記入すること。なお、過去において本表彰を受けたものは、再び推薦できない。
- ⑬ 「免許・資格等」には、表彰に関する技能職種に関連した免許、資格等の名称と、取得年月日を記入すること。
- ⑭ 「技能の特徴・評価・実績等（概要）」には、本表彰に推薦するにふさわしい技能の評価、実績等について記入すること。なお、この欄には簡潔に概要のみ記入し、詳細を別紙として差し支えない。
- ⑮ 「表彰・入賞歴」には、あらゆる表彰について、名称、受賞年月日、実施団体及びその表彰の内容について記入すること。
- ⑯ 「後進の指導育成実績」には、各項目別に始期及び終期、その内容（派遣先、教育訓練の名称、対象者等）を記入すること。
- ⑰ 「作業改善等」には、特許、実用新案、意匠登録及びその他社内・外における改善提案又は作業改善の実績件数を記入するとともに、その内容について記入すること。
- ⑱ 「文化財の保存又は生業的職種に従事の有無」には、文化財の修復等又は生業的職種（伝統的工芸品その他これに類する製品の製作又は建造に従事する職種）に従事した期間と、文化財の修復にあってはその文化財の名称、文化財指定状況、所在地及び修復等の作業内容を、生業的職種にあってはその従事内容を記入すること。

調書を記入する場合には、黒インク、黒ボールペン、ワードプロセッサ等で明瞭に記入すること。なお、この調書は、被表彰者選考のための基本票となるので、記載は明瞭かつ的確に漏れなく記入すること。調書に書ききれない場合は、別紙としても差し支えない。

また、調書には、別冊として、被表彰候補者の技能の程度及び功績を立証又は説明する資料を添付すること。この資料は返還しないので、返還を要しないものを添付すること。なお、資料はA4サイズに統一し、量を少なくするため、なるべく両面を使用すること。

- a 本人の手による代表的な作品、建造物等の写真又はその鮮明な写し
- b 本人の事績に関する新聞、雑誌、業界誌等の記事又はその写し
- c 発明、考案、改善等については、改善前と改善後の比較をなるべくわかりやすく、簡潔に書いた資料
- d 免許、表彰、感謝状、特許、実用新案等については、その証書等の写し

推 薦 調 査 書

推薦者	団体名	〇〇工業組合
	所在地	名古屋市中区三の丸〇-〇-〇
	電話番号	052-111-1111

①職業部門・職種コード、職種名		事業所における職種名				
II-1-① 金属工作機械工		旋盤工				
②氏名 (旧氏名等)	鈴 木 一 郎 (山 本)	⑥就業先	事業所名 〇〇工業(株) 部署・地位 △△製作所 工場長			
③生年月日 年齢・性別	大正 昭和 22年 7月 20日 (64歳) 平成	所在地	岡崎市〇〇町〇〇1番地 〒444-0001 TEL (0564) 11-1111			
④最終学歴	△△高等学校(機械科) 卒・中退	従業員数	事業所全体 9,800人 資本金 12,000百万円			
⑤現住所	名古屋市中区〇〇一丁目2番3号 〇〇マンション101号 〒460-8501 TEL (052) 123-4567	1日平均の就労時間 8 時間 (うち技能従事時間 3 時間)				
		技能の主な従事内容 旋盤による〇〇の加工				
⑦職歴	名称等		在職期間		在職年月数	重複を除く年月数
	事業所名(部署名) 職務内容		始期 終期			
	××工業(株) 旋盤工		年 月 日	年 月 日	年 月	46年 6.5月
	〇〇工業(株) △△製作所 "		40 4 1	41 3 15	11.5	
	〇〇製作所 " 作業長		41 4 1	55 3 31		
〇〇製作所 " 係長		55 4 1	60 3 31			
〇〇製作所 " 工場長		60 4 1	6 3 31		45 7	
6 4 1 現 在						
⑧審査委員歴等	名称(従事内容)		主催等		始期	終期
	中央技能検定委員(機械加工)		国・中央職業能力開発協会		年 月	年 月
	県技能検定委員(機械加工)		愛知県・愛知県職業能力開発協会		14 4	17 3
	県技能検定補佐員(機械加工)		〇〇工業組合		8 4	14 3
〇〇作品展審査委員				5 7	8 3	
				8 7	8 8	
⑨団体役員歴等	団体等名称(地位)		始期	終期	⑩模範性	
	〇〇組合(組合長)		年 月	年 月	地域社会活動の実績	
	〇〇協同組合(理事)		12 4	現 在	〇〇町内会長(14年4月~現在)	
			4 4	現 在	△△小学校PTA役員(62年4月~63年3月)	
				刑罰の有無		有・無
				破産宣告の有無		有・無
				成年被後見・被保佐人に該当		有・無
⑪障害の有無	障害名	左下肢切断		⑫過去の推薦状況	平成21年度、22年度	
	級・程度	3級	認定年月日		合計 2回	
		昭和54.6.8				

氏名 鈴木 一郎

⑬ 免許・資格等	名称	取得年月日			名称	取得年月日		
		年	月	日		年	月	日
	職業訓練指導員免許(機械科)	62	11	10				
	技能検定1級(機械加工(〇〇作業))	53	4	5				

⑭技能の特徴・評価・実績等(概要)

・旋盤工としてプレス成型金型の加工に従事し、特に〇〇加工の技能に優れ、△△の製作においては、当社では本人しか製作できない。(詳細は別紙1)

⑮ 表彰・入賞歴	名称	受賞年月日			表彰実施団体	表彰の内容
		年	月	日		
	技能に対する表彰・入賞 〇〇コンクール △△賞	12	11	10	〇〇組合連合	優れた技能に対する表彰
	叙勲、褒章、その他功績に関する表彰 〇〇大会表彰 永年勤続表彰	14 8	8 5	10 1	〇〇協同組合 〇〇工業(株)	役員功労 永年勤続

⑯ 後進の指導育成実績	件名	始期			終期			内容
		年	月	日	年	月	日	
	認定訓練施設指導員	5	4	1	13	3	31	〇〇工業(株)〇〇学園機械加工科講師(週2日、1日2時間)
	社内の教育訓練	60	4	1	2	3	31	社内〇〇技能講習会指導員
	社外の教育訓練	16	1	10	16	3	7	△△工業(有)における技能講習会講師
	海外技術指導	6 14	7 1	3 20	6 14	7 3	21 15	〇〇国〇〇会社における現地技術指導 〇〇国からの研修生に対する技術指導
	その他の指導育成	16	8	1	16	8	2	〇〇工業(株)市民開放技能教室指導員

⑰ 作業改善等	区分	特許	件	実用新案	件	意匠登録	件	その他	件
	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇の発明(特許取得番号、詳細は別紙2)</li> <li>・△△工程における△△の改良により、安全性・生産効率とも向上し、年間約480万円のコストダウンを実現。</li> <li>・◇◇工程の改善を図り、納期が従来の10日から8日に短縮。</li> </ul>							

⑱文化財の保存又は生業的職種に従事の有無									
始期			終期			文化財の名称(指定状況)・所在地・修復内容、従事内容等			
年	月	日	年	月	日				
7	8	2	9	7	30	〇〇神社本殿(〇〇県〇〇市、〇〇県指定文化財第〇号)の〇〇部分の修復			
53	4	1	63	3	30	△△細工(△△作業)に従事			